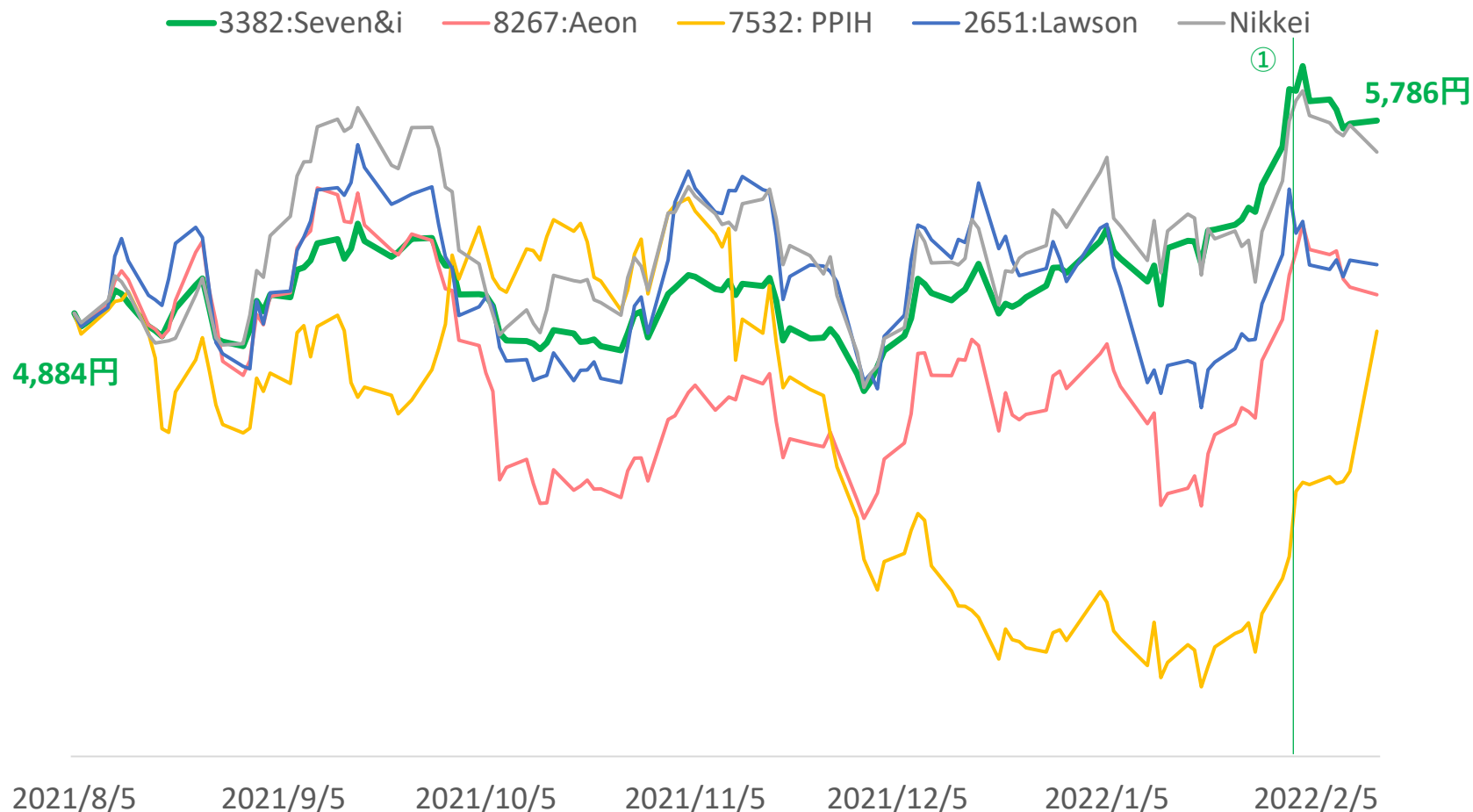


株価推移

- 3Q 2022/2期の業績が良かったこと、Speedwayのフル連結数値が確認できたこと、アクティビスト ValueActが活発に動きそうなことなど、イベントドリブンを含め、最近6か月間のセブンの株価は他社対比で一番良いパフォーマンス。
- ①は、そごう西武売却の一報が流れた、2022年2月1日の株価の反応を示したものの。前日比+4.4%増。

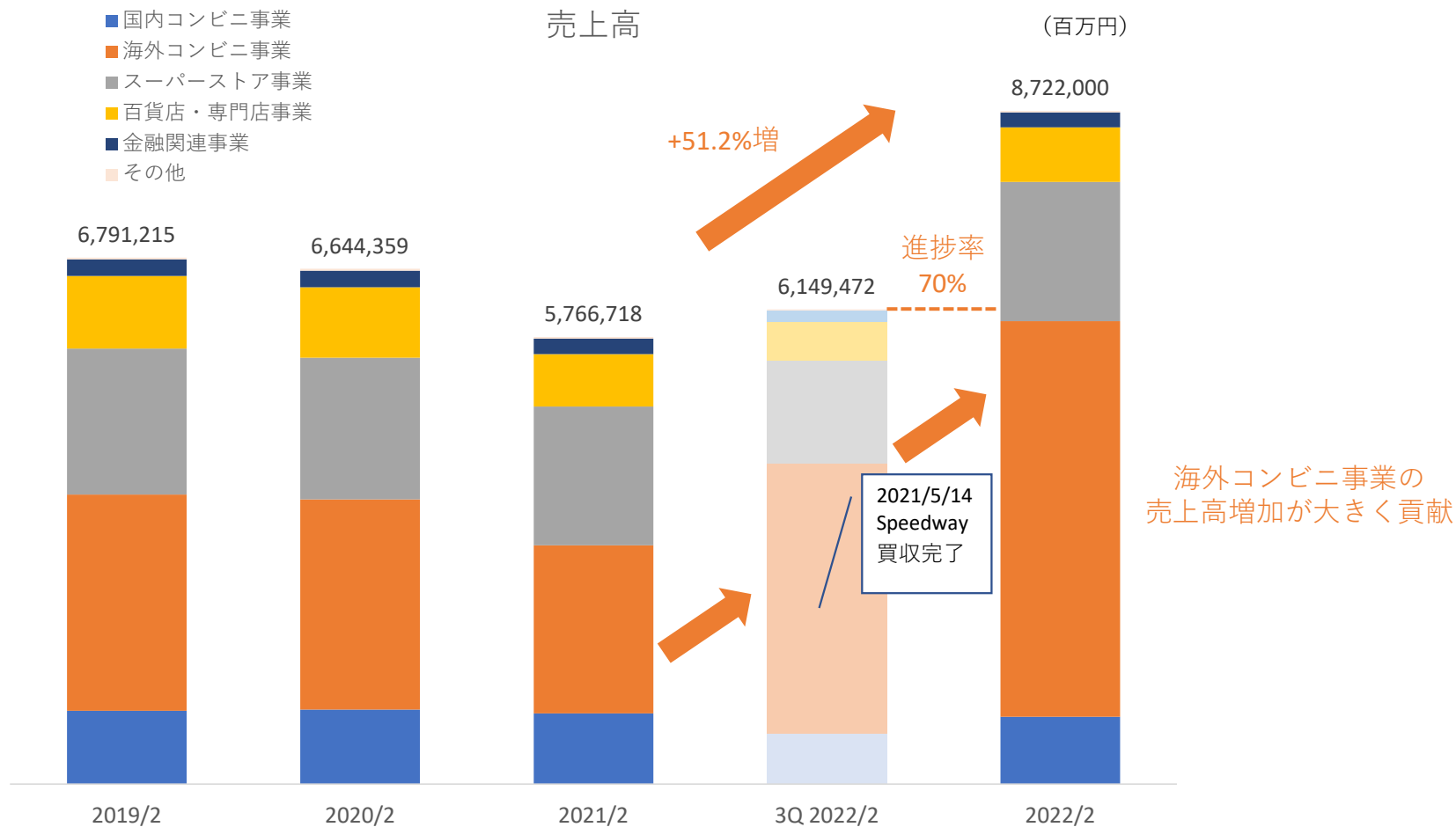


※1. 上記セブン以外の株価及び日経平均は、2022/8/5のセブン株価に合わせて、指数化し推移を示したものの。

※2. 上記データは、みんなかぶ (<https://minkabu.jp/>) をもとに作成。

売上高の推移

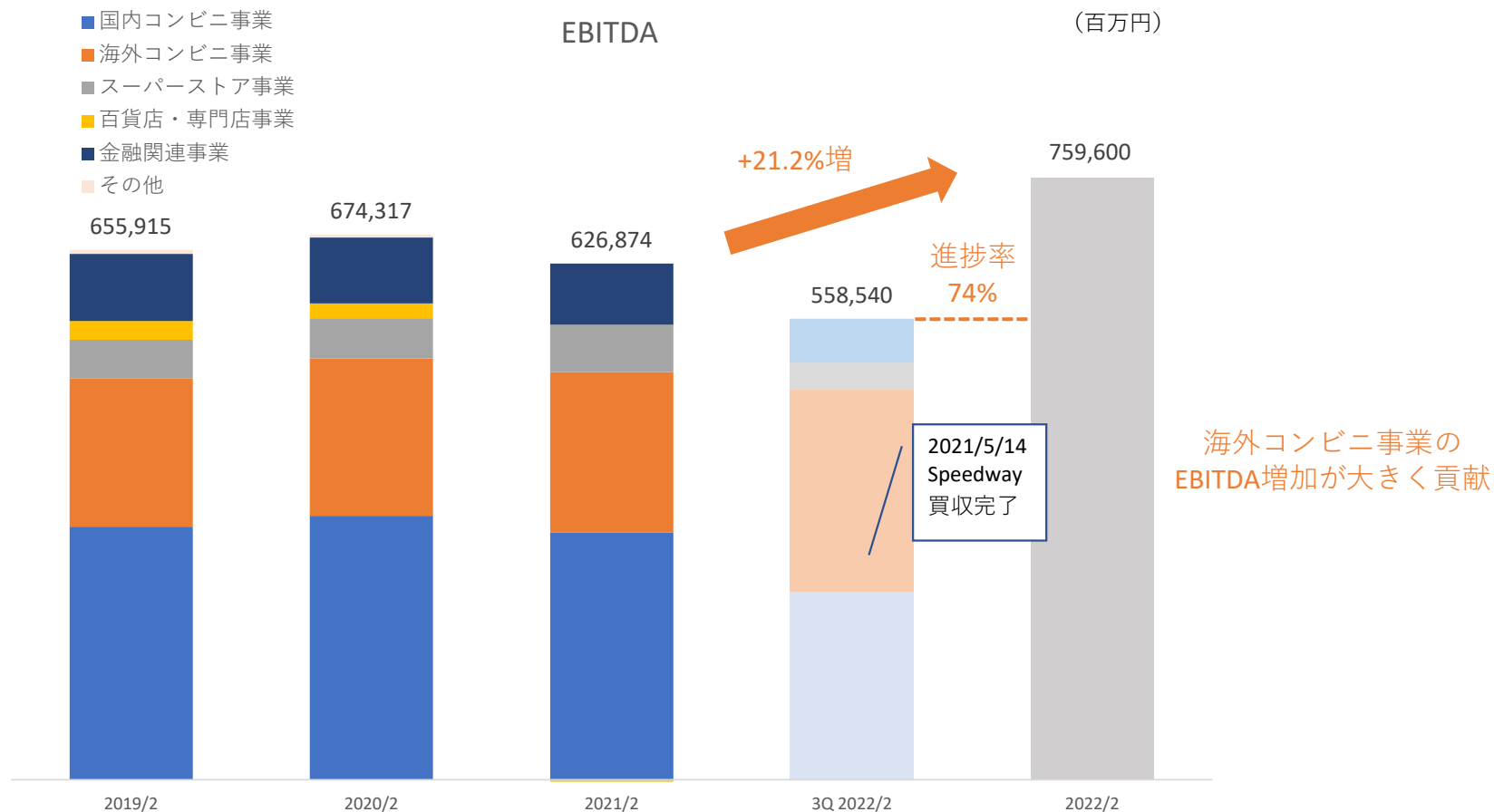
- 今期2022/2期は、Speedwayのフル連結されたことによる業績拡大が、顕著。
- 今後、販売シナジー効果の出現と、更なる海外コンビニ事業の拡大（次のM&Aが注目）がセブンの成長期待。



※1. 上記データは、セブンの公開資料をもとに作成。

EBITDAの推移

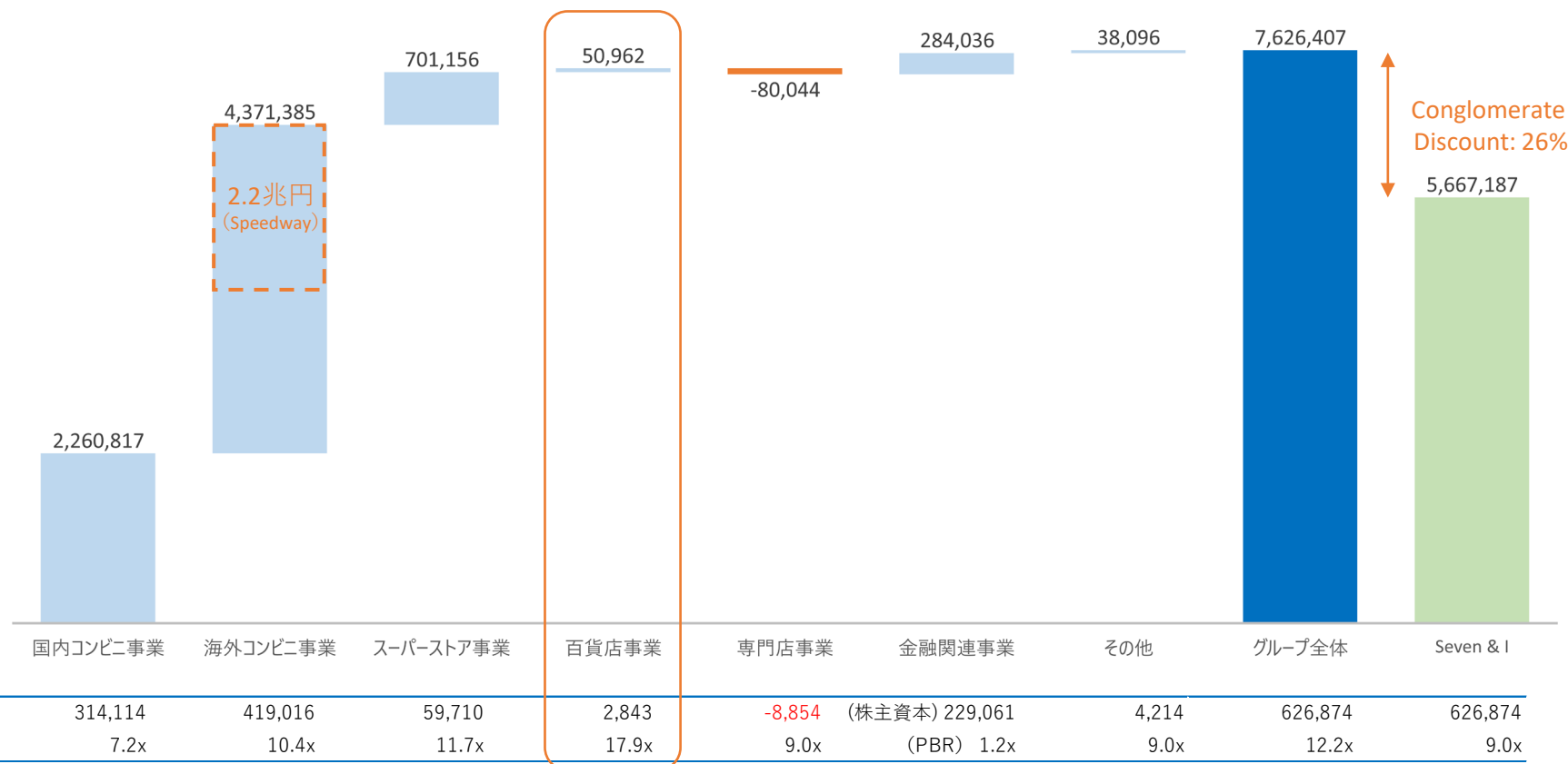
- 今期2022/2期は、Speedwayのフル連結されたことによる業績拡大が、顕著。
- 今後、コストシナジー効果の出現と、更なる海外コンビニ事業の拡大（次のM&Aが注目）がセブンの成長期待。



※1. 上記データは、セブンの公開資料をもとに作成。

セブンアンドアイの企業価値分解：SOTP（Sum of the Parts）分析

- 2021年5月Speedway買収完了により、セブンの企業価値の57%は海外コンビニ事業が占める。
- ブランド力のある『そごう西武』は話題性はあるが、全体の企業価値のたったの0.7%。
- 1,000億円レベルの程度の売却損が発生してもSpeedwayの利益（EBITDA 2,200億円）で吸収可能。
- 国内コンビニ⇒頭打ち、更なる海外コンビニ事業拡大（欧州は未進出・アジアも国により成長余地あり）というエクイティストーリーがある今、負の遺産を早急に切り離すにはベストタイミング。

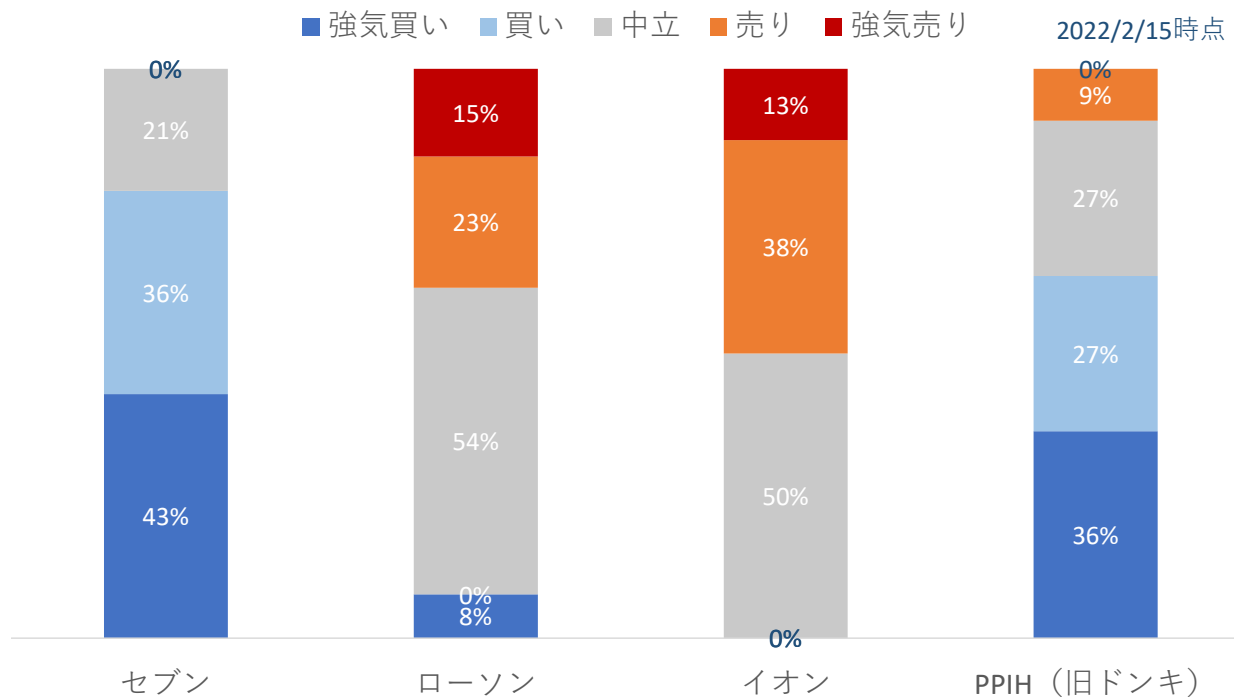


※1. EV/EBITDAは、各事業の類似企業のEV/EBITDA平均値。国内コンビニ：セブン9.0x/ローソン5.4x、海外コンビニ：Couche-Tard 10.1x/Casey's 10.8x、スーパーストア：イオン7.1x/PPIH 16.4x、百貨店：三越伊勢丹35.8x/高島屋14.3x/Jフロント13.0x/H2O 8.6x、専門店：セブン9.0x、金融関連：セブン銀行PBR1.2x（時価総額 = 企業価値と置く）、その他：セブン9.0x。専門店とその他は便宜的にセブン&iのEC/EBITDAを使用。

※2. 海外コンビニ事業には、形式的に19億ドルのSpeedwayのEBITDAを加算。為替は\$1=115円換算。

アナリスト評価

- セブンが最もアナリスト数が多く、**買い推奨のアナリストが約80%**で、大手小売りセクター内で**一番人気**。
- アナリストも機関投資家には、**黙ってセブンの株を買っておけば、大丈夫**、というレベル。



アナリスト数 (人)	14	13	8	11
目標株価 (円)	6,330	5,038	2,443	2,244
株価 2/15 (円)	5,832	4,970	2,679	1,905
乖離 (%)	8.5%	1.4%	-8.8%	17.8%

第3段階 その他の非中核事業からの撤退

セブン—イレブン本体の成長と収益の向上に焦点を当てた独立事業体への道づくりをする



nissen,



B A R N E Y S
N E W Y O R K



Francfranc



株式会社 セブンカルチャーネットワーク
Seven Culture Network Co., Ltd.

